

～保護生物（金ラン・銀ラン）の保護について～

ちはら台の各公園には植栽により植えられた植物とともに、野生の植物も多数存在します。
特に表題の植物はともにラン科で房総半島には温暖な気候により、もともとは普通に群生していた植物ですが、近年は盗掘や里山の荒廃により著しく減少しています。

現在では多くの都道府県で絶滅危惧種に登録されており、千葉県では2017年のレッドデータブックにて、ともにDランクの一般保護生物として位置づけされています。

この2種については、土壌の菌類と共生しており、移植しても栽培が非常に困難であり、盗掘されても数年で消滅してしまう可能性が高いそうです。

どうかそのままの姿で、野において愛でてあげてください。

自治会連合としては、公園の管理士である公園緑地課に報告して、問題提起を行いますますが皆様も移植などをせずに、そのままでお楽しみくださいませ。



広報委員会・環境交通委員会

